

KÄRCHER NEWS

ケルヒャーニュース

12 | 2021



**2021 ケルヒャー
ジャパンニュース**

› Page 3

**2021 年発売の
先進的なケルヒャー製品**

› Page 4

**SDGs に向けた
取り組み**

› Page 5

**2021 年に話題を
呼んだ清掃トピックス**

› Page 6

ご挨拶



平素よりケルヒャー ジャパンをお引き立ていただき、誠にありがとうございます。
代表取締役社長のマーク・ヴァン・インゲルゲムでございます。
日頃より、当社製品へのご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年は昨年に引き続き様々な面で新型コロナウイルスの影響を受ける中、スポーツの国際大会の開催、ワクチン接種の開始など、アフターコロナに向けた兆しも見える一年となりました。新たな生活様式が定着しつつある中、高い衛生管理意識を持つ方が多くなり、社会全体として、衛生や清掃活動に対する考え方、そして清掃業界の位置づけも大きく変化していると感じています。

業務用分野においては日本市場に合わせた新たなフロアケア製品のラインアップを拡充させました。業務用製品を多数取り扱うメーカー直営の体験型ショップ「ケルヒャーファクトリーアウトレット 南町田」をオープンする他、日本各地にアウトレット店舗の出店を進めました。またグッドデザイン賞をはじめ様々な製品でアワードをいただくことができました。

家庭用分野では新たに、バッテリー式刈払機などのガーデンツールを投入し、昨今のガーデニング需要のニーズにも対応いたしました。また、ご家庭で簡単にフロア除菌が可能なスチームモップ「SC Upright」を発売しました。

ケルヒャーグループでは様々な国で社会貢献活動に注力していますが、日本においてもSDGs 達成へ向けた活動を推進しています。沖縄県では自治体と協力し、特定外来生物の防除を目的とした実証実験の取り組みや、長崎県では世界恒久平和の実現を願う「長崎原爆資料館」へのクリーニング活動など、持続可能な社会の実現に向けたプロジェクトを実施しました。

社会が変化していく中、これからもケルヒャーにご期待いただけるよう今一度初心に帰って「カスタマーセントリック(お客様中心主義)」に基づいた経営を実践していく所存でございます。お客様のニーズや環境の変化に素早く対応し、人々が安心安全に暮らせる社会の実現を目指します。

清掃機器専門メーカーとしての責任を果たしていくとともに、技術力、ノウハウ、そして、グローバル市場で培った知見を活かし、商品・サービスの導入を進めてまいります。今後とも、皆様の一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

代表取締役社長
マーク・ヴァン・インゲルゲム

2021 ケルヒャー ジャパン ニュース

▶「ケルヒャーファクトリーアウトレット 南町田」オープン

2021年4月23日（金）、ケルヒャー ジャパンの国内2店舗目となるアウトレットショップ「ケルヒャーファクトリーアウトレット 南町田」がオープンしました。

神奈川県横浜市にあるケルヒャー ジャパンの施設内に併設された同店は、メーカー直営の体験型ショップです。店舗では専任スタッフが製品の実演を行い、お客様にも実際に試していただきながら、購入前の相談から効果的な使用方法まで分かりやすく案内しています。

取扱製品は、家庭用および業務用のアウトレット品です。特

に業務用はエントリー製品も豊富で、多くの法人のお客様が利用しています。体験型のショップで、ケルヒャー製品を手にとってその性能や使い心地をお試しください。



▶お取引様向けオンライン発注システム「インフォネット」

お取引様向けオンライン発注システム「インフォネット」の利点は、発注作業がシンプルで簡単になることです。電話やFAXで在庫・納品日を確認する手間、膨大な種類から製品を探す手間、FAX注文の確認などにかかる手間や時間を減らすことができます。

発注の際は「インフォネット」を開き、ケルヒャー製品の名称や注文番号で検索ください。価格や納入可能日、在庫状況をすぐに確認でき、配達希望日の指定も可能です。「インフォネット」からの注文は送料無料、加えて製品カタログや取扱説明書などのダウンロードリンクなどにも簡単にアクセスできます。「インフォ

ネット」利用をご希望の際は、登録が必要になりますので、詳細は担当営業までお問合せください。



▶Thank Your Cleaner Day 2021

「Thank Your Cleaner Day」は、清掃業に携わる方々の地位向上と感謝の気持ちを伝えることを目的に始まった活動です。ケルヒャーは開始当初よりパートナーとして活動しています。

今年日本では、10月20日（水）から11月30日（火）まで、公益社団法人 全国ビルメンテナンス協会の後援のもとでこの活動を行いました。期間中はケルヒャー ジャパンオリジナルマスクを制作して全国50社以上の賛同企業・団体とともに着用し、日頃の感謝の意を示す取り組みを進めました。

ケルヒャー ジャパンは、今後も清掃業に携わる方々のより良い環境づくりを目指し、さまざまな活動を展開します。



2021 年発売の先進的なケルヒャー製品

ケルヒャー ジャパンは、2021年も革新的な新製品を発売し、さまざまな清掃課題を抱えるお客様に最適なソリューションを提供してきました。その中でも、特に注目を集めた新製品についてご紹介します。

業務用製品

ケルヒャー グループでは、清掃機器のバッテリーを共通化させユーザーの利便性を高める「バッテリーユニバース」(バッテリーのプラットフォーム化)を推進しています。この指針を初めて具現化したのが、リチウムイオンバッテリー「バッテリーパワープラス 36V」(6.0Ah/7.5Ah)が搭載できるコードレス高圧洗浄機『HD 4/11 C Bp』と、コードレス乾湿両用バキュームクリーナー『NT 22/1 Ap Bp』です。両製品とも、屋外や入り組んだ場所でも簡単に清掃できる機動力を確保しながら、100V電源タ

イプに匹敵する洗浄力や吸引力を発揮します。また「バッテリーパワープラス 18V」(3.0Ah)で稼働するのが、世界最小・最軽量クラスの床洗浄機『BR 30/1 C Bp』です。この1台で掃き掃除と床拭きの両方の作業を可能にし、清掃時間の短縮を実現します。

さらに、ケルヒャー史上、クラス最高の汚水回収能力を発揮する自走式床洗浄機『BD 50/55 W Classic Bp』も発売され、高水準の衛生管理と清掃作業の効率化の両立に貢献します。



家庭用製品

ステイホーム習慣による「おうち時間」をより楽しく快適にするために、今年7月、国内ガーデン市場に初参入しました。これまでに『WRE 18-55』(雑草刈機)、『LTR 18-30』(刈払機)、『HGE 18-50』(ヘッジトリマー)、『GSH 18-20』(生垣バリカン)、『LBL2』(ブロア)、『BLV18-200』(ブロアバキューム)を発売しています。

また7月15日(木)には、家庭で手軽に高圧洗浄ができる『KHB 6 バッテリーセット』が発売されました。片手でラクに持てるコンパクトな高圧洗浄機で、窓、玄関まわり、洗車などさまざまなシーンで活用することができます。同製品とガーデンツール6製品は「バッテリーパワープラス」対応で、電源のない場所でも手軽に使用できます。

さらに10月26日(火)には、ケルヒャー初の家庭用スチームモップ『SC Upright/SC Upright プレミアム』が発売されました。約100℃の高温スチームで汚れを浮かせて落とし、一般家庭のバクテリアやウイルスを99.99%除菌※します。

※第三者機関調べ



SDGs に向けた取り組み

▶ プラスチックの利便性と課題とは？ ケルヒャーが実践する持続可能な取り組み

耐久性、断熱性、吸音性、保温性に優れ、しかも軽量で安価なプラスチックは、1950年代以降爆発的に使用されるようになりました。しかし近年、プラスチックゴミは海洋汚染の原因となること、燃やすと温室効果ガスが発生し大気汚染の原因となることなど、さまざまな問題が明らかになってきました。そこで始まったのが、プラスチックのリサイクルと使用の抑制です。ケルヒャーでは2012年以降、再生プラスチックを機械に使用する割合を4倍に増やすことに成功しました。古いエアバッグの素材や製造過程の残骸から抽出したリサイクル材「Technyl® 4Earth®」で、高圧洗浄機のアクセサリーであるスプレーランスを製造していることは、その一例です。また、プラスチックゴミの抑制にも積極的に取り組んでいます。たとえば、包装材の削減です。これまでモバイルクリーナー『OC 3』の包装には、

緩衝材として4つのポリスチレンインサートを使用していました。そこで替わりとなる段ボール製のインサートを開発したところ、プラスチックの使用がなくなるだけでなくパッケージのサイズも20%小さくなり、パッケージの製造コストも45%削減されました。

SDGs 達成のために、グローバルメーカーとしてどのような貢献をしていくか。ケルヒャーはこの問いに対して常に自問自答し、最善の道を進むべく取り組みを続けてまいります。



▶ 「長崎原爆資料館」クリーニングプロジェクト

ケルヒャー ジャパンでは、清掃を通して重要な歴史を後世に伝えていけるよう、建物の美化に貢献し歴史的建造物の保全・保存を行うプロジェクトを推進しています。今回、長崎市と長崎のプロサッカークラブ V・ファーレン長崎のご協力のもと、「長崎原爆資料館」のクリーニング活動を実施しました。

当日は、業務用温水高圧洗浄機を用いて施設の正面入り口の壁面を洗浄しました。また正面入り口の床面は、業務用小型床洗浄機と業務用乾湿両用クリーナーで洗浄。さらに玄関周辺の雑草は、高温水によって植物を枯らす温水除草を施しました。

ケルヒャー ジャパンは、クリーニングプロジェクトを通して重要な歴史、価値ある建造物を後世に伝える一助を担えるよう、引き続き活動に取り組んでまいります。



洗浄剤・化学薬品等は使用せず、細心の注意を払いながら洗浄を行いました

▶ 沖縄県・金武町で温水除草の実証実験を開始

ケルヒャー ジャパンは、沖縄県金武町役場 農林産課と協働で、エンジン式温水高圧洗浄機『HDS 1000 Be』使用による特定外来生物「ツルヒヨドリ」防除の新手法の検討と、公園等での利活用化を目的とする実証実験を開始しました。

この実証実験は、環境省と沖縄の公立名桜大学からの助言をもとに、ツルヒヨドリに対して温水除草を施し、人にも環境にも優しい新防除手法の確立を目指すものです。

10月28日（木）の実験初日は金武町の親水広場にて、『HDS 1000 Be』とさまざまな除草用アクセサリーを使用し、約100℃の温水を繁殖箇所散布しました。すると翌日には、散布範囲の雑草が変色し、除草の初期段階が確認できました。実験

は今後も継続し、環境負荷と労働力に配慮した防除の実現を目指します。



地元テレビ局にも取り上げていただきました



2021年に話題を呼んだ清掃トピックス

▶ 雑草対策がもっと簡単になるケルヒャーの「温水除草」

草刈り機による刈り取りや農薬・除草剤による雑草防除に替わる、新たな雑草対策として期待されるケルヒャーの温水除草。環境負荷を減らしながら雑草を根絶やしにでき、除草作業の頻度も減らせるなどさまざまなメリットがあります。

雑草は繁殖力が強いので、定期的な除草が欠かせません。これまでは草刈り機や農薬・除草剤による除草が主流でしたが、人手による作業はコストがかさみ、また環境意識への高まりから除草剤の散布も難しくなってきました。こうした中、ケルヒャーは長年培ったノウハウをもとに、「温水除草」という仕組みを開発しました。

ケルヒャーの温水除草は、温水高圧洗浄機に除草ノズルと呼ばれるアクセサリを組み合わせることで、ノズルの先端から100℃に近い高温水を吐出しま

す。高温水には雑草に含まれるタンパク質の構造を変える力があるため、雑草の根元まで高温水が到達することで、雑草を根絶やしにすることができます。これにより一定期間雑草が生えにくくなるので除草作業の回数を減らすことができ、作業者の負担軽減に貢献します。また農薬や除草剤を使用しないので、環境負荷の少ない除草作業が可能になります。

メリットが多い温水除草ですが、草刈り機や薬品除草と比べると、導入コストの負担は大きくなります。しかし温水高圧洗浄機は、ノズルを変えればさまざ

まなシーンで活用できます。「雑草が繁殖する時期は除草に」「その他の時期は車両や油汚れが付着した機器の洗浄に」などと頻繁に使用することで、費用対効果を高めることができます。



▶ 適切な清掃機器を使った高効率の溶接ヒューム対策

2021年4月の法改正により、金属アーク溶接作業などから発生する「溶接ヒューム」が特定化学物質（第2類物質）に認定されました。溶接ヒューム対策として重要性を増す「清掃」にフォーカスし、清掃機器の選び方をご紹介します。

溶接ヒューム対策に挙げられるのは、①換気の強化、②呼吸用保護具の使用およびフィットテストの実施、③清掃などの実施、④特定化学物質作業主任者の選任、⑤特殊健康診断の実施、⑥その他必要な措置の6つです。中でも重要なのは、③の清掃です。法改正により、作業現場では「水洗等粉じんの飛散しない方法で毎日1回以上の掃除をすること」が義務付けられましたが、水洗いができない場所もあるので、水洗いできる場合とできない場合の2種類から清掃方法を選択することになります。

水洗いできる場合は、洗浄塗布、ブラッシング、汚水回収が

一台でできる床洗浄機の使用が最適です。床に水が残る時間が短くしっかりと水を回収するので、転倒リスクを抑え、感電や溶接機のショートなどのリスクを妨げることができます。

水洗いできない場合は、乾湿両用バキュームクリーナーなどの掃除機を活用します。静電気の発生を抑制する帯電防止仕様のモデルは、強い静電気が発生する溶接現場のお客様から特に高い評価を得ています。どちらの場合でも、大切なのは「適切な清掃機器を使うこと」です。法令を遵守した溶接ヒューム対策には、ぜひケルヒャー製品をご検討ください。



水洗いできる場所には床洗浄機



水洗いできない場所には乾湿両用バキュームクリーナー

》すすぎ洗いがいらないケルヒャー独自のカーペット清掃

カーペットの汚れは、掃除機をかけるだけでは十分に切り切れませんが、水洗いするには時間も手間もかかります。そこで、ケルヒャーの専用機器と洗浄剤による、誰でも簡単にできるカーペット清掃についてご紹介します。

オフィスやホテルなどカーペットを敷く場所が増えていますが、汚れがたまると細菌や寄生虫の繁殖や悪臭の原因となり、汚れを長時間放置すると大きなシミが残る可能性があります。

カーペットの複雑な汚れを取り除くには、3つのステップが必要です。ステップ1は、強力な吸引力のバキュームクリーナーによる粗ゴミの回収です。ステップ2は、カーペットの奥まで入り込んだ汚れを取り除くウェット清掃です。局地的な洗浄に便利なカーペットリンスクリーナーや、手押し式のカーペット洗浄

機を使用します。ウェット清掃に使用する専用洗浄剤には、カーペット内の汚れをカプセル状に包み込む、ケルヒャー独自の技術 iCapsol が使用されています。そして最後のステップは、カーペット乾燥後の清掃です。iCapsol 技術によって結晶化した汚れを、かき上げ式のブラシがついたアップライト式クリーナーで除去します。

この3ステップで清掃は完了です。iCapsol は汚れの再付着防止機能もあり、長期的な清掃効果が期待できます。



バキュームクリーナーで粗ゴミを回収



カーペットリンスクリーナーと洗浄剤で奥まで入り込んだ汚れを取り除く



アップライト式クリーナーで、乾燥後のカーペットに残っている結晶化した汚れを除去

》ケルヒャーが提唱するオフィス除菌清掃のポイント

新しい生活様式が常態化し、オフィスの清掃は、清潔な状態を保つだけでなく除菌などの高い衛生要件が求められています。そこで清掃のプロ・ケルヒャーより、オフィスにおける清掃と除菌のポイントについてお伝えします。

【キッチン】床、調理台、ドアノブ、食器棚、引き出し、蛇口などは表面洗浄を徹底しましょう。スチームクリーナーなら、約 100℃の高温スチームで細菌を 99.999%※除菌できます。

【洗面所・トイレ】床、便器、シンク、蛇口などはマイクロファイバークロス、洗浄剤、除菌洗浄剤を使った拭き掃除も除菌に有効ですが、スチームクリーナーなら簡単に除菌できます。

【オフィスエリア】デスク周りやドア、

スイッチなど手が触れる場所は、マイクロファイバークロス、洗浄剤や除菌洗浄剤使用の拭き掃除が有効です。

【共用スペース】テーブルや椅子は、マイクロファイバークロス、洗浄剤、除菌洗浄剤による拭き掃除を行います。テーブルは使用前後に必ず除菌し、細菌感染予防に努めましょう。

【エントランス・受付】多くの人が行き交うエントランスは汚れやすく飛沫によって汚染されやすいため、定期的な清

掃と頻繁な除菌が必要です。

いずれのスペースでも、水と洗浄剤で汚れやホコリを落とした後に除菌作業を行う手順を守ることが重要です。

※第三者機関の検査結果



KÄRCHER

新たな清掃の スタイルが始まる

業務用バッテリー式床洗浄機

BR 30/1 C Bp



製品情報はこちら